開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	人文科学Ⅰ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・日本史や世界史、地理、思想を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	日本史　原始・古代の社会（その1）
3	日本史　原始・古代の社会（その2）
4	日本史　原始・古代の社会（その3）
5	日本史　中世の社会（その1）
6	日本史　中世の社会（その2）
7	日本史　中世の社会（その3）
8	日本史　近世の社会（その1）
9	日本史　近世の社会（その2）
10	日本史　近世の社会（その3）
11	日本史　近・現代の社会（その1）
12	前期中間試験
13	まとめ
14	日本史　近・現代の社会（その2）
15	日本史　近・現代の社会（その3）
16	倫理　西洋思想
17	前期期末試験
18	まとめ
19	倫理　日本の思想
20	地理　気候と土壌
21	地理　日本の地理
22	地理　ヨーロッパの地理
23	世界史　西洋史（その1）
24	世界史　西洋史（その2）
25	世界史　西洋史（その3）
26	後期中間試験
27	まとめ
28	世界史　西洋史（その4）
29	世界史　中国史（その1）
30	世界史　中国史（その2）
31	世界史　中国史（その3）
32	地理　地図情報
33	地理　地球環境
34	地理　アジアの地理
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・教科書を使用し、重点項目となっているところを中心に、できるかぎり効率的な学習を行う。
・教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員の一次試験合格をめざす。
・担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	社会科学Ⅰ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・政治や経済の仕組みを理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	政治　民主政治の基本原理と制度（その1）
3	政治　民主政治の基本原理と制度（その2）
4	政治　日本国憲法の基本原理と基本的人権（その1）
5	政治　日本国憲法の基本原理と基本的人権（その2）
6	政治　日本国憲法の基本原理と基本的人権（その3）
7	政治　日本国憲法の統治機構（その1）
8	政治　日本国憲法の統治機構（その2）
9	政治　日本国憲法の統治機構（その3）
10	政治　日本国憲法の統治機構（その4）
11	政治　政治の諸問題（その1）
12	前期中間試験
13	政治　政治の諸問題（その2）
14	政治　政治の諸問題（その3）
15	政治　国際政治（その1）
16	政治　国際政治（その2）
17	前期期末試験
18	政治　国政政治（その3）
19	経済　市場経済（その1）
20	経済　市場経済（その2）
21	経済　市場経済（その3）
22	経済　国民経済の流れ（その1）
23	経済　国民経済の流れ（その2）
24	経済　国民経済の流れ（その3）
25	経済　国民経済の流れ（その4）
26	後期中間試験
27	経済　日本経済の発展（その1）
28	経済　日本経済の発展（その2）
29	経済　国際経済の動向と国際協力（その1）
30	経済　国際経済の動向と国際協力（その2）
31	社会　労働問題と消費者問題（その1）
32	社会　労働問題と消費者問題（その2）
33	社会　人口問題（その1）
34	社会　人口問題（その2）
35	後期期末試験
36	社会　地球環境問題

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・教科書を使用し、重点項目（「ポイント」「P」）となっているところを中心に、できるかぎり効率的な学習を行う。
・教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員や航空大学校等の一次試験合格をめざす。
・担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅠ	杉谷武信	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会に出て、即通用するような人材を育成する。

【講義概要】

・学生に規則や礼儀を身につけさせる。
・学生一人一人を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	仕事に取り組む心構え／学生個人の把握（個人面接、SPIの実施）
2	
3	指示の受け方・報告の仕方，職場の人間関係構築について
4	
5	社会人としての基本動作とは
6	
7	社会人としての話し方，話の聞き方
8	
9	敬語の基本，間違えやすい敬語
10	
11	来客応対①　接遇とは，受付，名刺の扱い
12	
13	来客応対②　来客応対について
14	
15	訪問のマナー①　訪問時に気を付けること
16	
17	訪問のマナー②　訪問の実際 ・・・ ロールプレイング
18	
19	電話応対①　電話応対の注意点，受け方・かけ方の基本
20	
21	電話応対②　電話応対の具体例　・・・ ロールプレイング
22	
23	電話応対③　クレーム電話等の対応，携帯電話 ・・・ ロールプレイング
24	
25	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　冠
26	
27	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　婚
28	
29	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　葬
30	
31	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　祭
32	
33	ビジネス文書における注意事項
34	
35	ファイリングのコツとは
36	

【成績評価方法】

授業態度と出席状況。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1．学生個人の把握（個人面接等の徹底）・・・前・後期
2．学生生活ならびに就職活動の指導・・・前・後期
3．伝達事項・・・前・後期
※常に言葉使い等の礼儀を指導する。担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	情報科学Ⅰ	新井愛美	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基礎知識を広く学習し、情報の概要を身に付ける。
就職後、会社等で使用するパソコン業務をスムーズに行えるようにすることを目標とする。

【講義概要】

前期は一般的に使用されているアプリケーション（Word, Excel, PowerPoint）の基本操作をマスターする。
後期は前期に行ったことを踏まえ、応用力を付けて実務で役立つようにする。

回	授業計画及び学習内容
1	授業説明、フォルダ構成、文字入力など
2	Word　基本機能
3	Word　表作成
4	Word　図形の作成
5	Word　基本総合
6	Word　テスト
7	Excel　基本機能
8	Excel　計算式・関数
9	Excel　グラフ
10	Excel　絶対参照
11	Excel　基本総合
12	Excel　テスト
13	PowerPoint　基本機能
14	PowerPoint　プレゼン資料作成
15	PowerPoint プレゼン
16	Word応用　DTPとは
17	Word応用　チラシ作成
18	Word応用　チラシ作成
19	Word応用　チラシ課題制作
20	Excel応用　3D集計、シートの編集
21	Excel応用　個数の関数、順位の関数
22	Excel応用　データベース
23	Excel応用　IF関数1
24	Excel応用　IF関数2
25	Excel応用　IF関数3
26	Excel応用　倫理関数
27	Excel応用　VLOOKUP関数
28	Excel応用　条件付き書式、シートの保護、その他便利な機能
29	Excel応用　総合問題2
30	HTML＆CSS　Webページ作成1
31	HTML＆CSS　Webページ作成2
32	HTML＆CSS　Webページ作成3
33	HTML＆CSS　Webページ作成4
34	情報概論、情報社会のモラル、知的財産権
35	テスト
36	テスト返却とまとめ

【成績評価方法】

出席状況、中間テストと期末テスト。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

社会人に必要なアプリケーションを用いて、対話形式で授業を行う。担当教員は専門学校において情報分野で十分な教育経験を有す。過去、企業研修や大学講座を担当した経験あり。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数的処理Ⅰ	佐藤 保幸	8単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

各種公務員試験で出題割合の最も多い，数的処理の問題がどのようなものかを知り，解けるようにすることが目標である。本講義では数的処理の問題をテーマごとに分類し，論点とその解法を身につける。
文章理解，数学，自然科学と重複，関連することが多い。両輪となって理解できるとよい。

【講義概要】

数的処理とは，文章や資料を読み，表な図を書きながら情報を整理し，数学の知識を用いて問題を解く，知能系の科目である。公務員試験だけでなく，就職試験でも類似の問題が出題され，数的処理自体が，受験者の知能を測定するツールとしてだけでなく，社会に出て仕事を遂行する実務能力を測るツールとしても扱われている。数的処理と聞くと数学と勘違いしている学生が散見されるが，数学とは異なる。勿論，必要最低限の数学を使いはするが，文章をしっかりと正確に読む「読解力」が強く要求される科目であり，文章の読み方などに焦点を当てて講義をしていく。

回	授業計画及び学習内容
1	計算/方程式の基礎
2	文章題(連立方程式，不等式，不定方程式)
3	文章題(比と割合，濃度，損益算)
4	速さ(速さの3要素，旅人算，周回算，時計算，ダイヤグラム)
5	速さ(流水算，通過算，仕事算，ニュートン算)
6	整数問題(約数・倍数，素数，剰余)
7	整数問題(規則性，数列，虫食い・覆面算，魔法陣)
8	場合の数
9	確率
10	平面図形(三角形，多角形，円)
11	これまでの総復習/前期中間テスト
12	集合(ベン図，カルノー表・キャロル表，線分図)
13	論理(全称命題と存在命題，ベン図，真偽表など)
14	対応関係
15	試合(総当たり戦，対戦日程，トーナメント戦)
16	これまでの総復習/前期期末テスト
17	順序関係(順位，数量)
18	位置関係(方位，部屋割り，座席表)
19	数量推理/操作手順
20	証言推理
21	立体図形の基礎/正多面体とその展開図
22	立体の切断/スライス法
23	投影図/位相図
24	これまでの総復習/後期中間テスト
25	サイコロと五面図/平面パズル
26	軌跡
27	回転体/円盤の回転
28	資料解釈の基礎/実数の表
29	構成比/割合
30	指数
31	対前年増加率
32	これまでの総復習/後期期末テスト
33	相関図
34	様々な資料
35	最適化(線形計画法，PERT法)
36	その他

【成績評価方法】

成績は，中間テストと期末テスト，出席率，授業態度等を総合的に勘案して決定する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

「わかった！」は当然大事なことである。しかし，最も大事なことは「できる」ようになることである。そこで，講師オリジナルのレジュメで基礎を学び，演習書で演習する，という形式を取る。そのために，問題を数多く解き，繰り返し反復する。これは，各自が歯を食いしばって行わなければならない。担当教員の専門は応用数学(数理物理学)だが，数学の応用範囲は幅広く，自ずと専門対象も幅広く扱っている。実務的な応用例を紹介しながら，難しいことをかみ砕いてわかりやすく伝えていき

たい。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	英語文法Ⅰ	高野美智子	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家公務員・地方公務員試験の一次突破を目標とする。

【講義概要】

公務員一次試験の出題傾向から、英文読解と英文法を中心に授業を展開する。

回	授業計画及び学習内容
1	英文読解、英文法（物質名詞の数え方）
2	英文読解、英文法（命令文 ＋ and/ or）
3	英文読解、英文法（There is/are ～ 構文）
4	英文読解、英文法（不定詞 1）
5	英文読解、英文法（不定詞 2）
6	英文読解、英文法（不定詞 3）
7	中間テスト対策 （まとめ）
8	前期 中間テスト
9	英文読解、英文法（動名詞1）
10	英文読解、英文法（動名詞2）
11	英文読解、英文法（使役動詞、知覚動詞）
12	英文読解、英文法（5文型）
13	英文読解、英文法（現在完了形1）
14	英文読解、英文法（現在完了形2-3）
15	期末テスト対策 （まとめ）
16	前期 期末テスト
17	英文読解、英文法（自動詞と他動詞）
18	英文読解、英文法（仮定法1）
19	英文読解、英文法（仮定法2）
20	英文読解、英文法（関係詞1）
21	英文読解、英文法（関係詞2）
22	英文読解、英文法（関係詞3）
23	英文読解、英文法（不定代名詞）
24	試験対策（まとめ）
25	後期 中間テスト
26	英文読解、英文法（現在分詞と過去分詞）
27	英文読解、英文法（分詞構文1）
28	英文読解、英文法（分詞構文2）
29	英文読解、英文法（比較1）
30	英文読解、英文法（比較2）
31	英文読解、英文法（比較3）
32	英文読解、英文法（自動詞と他動詞）
33	英文読解、英文法（接続詞）
34	英文読解、英文法（無生物主語）
35	試験対策（まとめ）
36	学年末テスト

【成績評価方法】

・講義全体を100点満点として採点する。{中間テスト(60点)＋ 期末テスト（60点)} /2 ＋
　平常点（出席率、提出物、集中力、積極性など）
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式を基本とする。担当教員は、北米に約3年の留学経験を持つ。英語力を生かしつつ、航空会社のCA、外資系企業の外人付秘書、人事採用担当、法務部にて弁護士アシスタント業務などの経験がある。自身の経験やエピソードを交えながら授業展開する。

TOEIC スコア： 970

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数学Ⅰ	仲田まり子	8単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

高校数学Ⅰで学んだ公式や定理を理解し使いこなせるようになる

【講義概要】

公務員試験に必要とされる数学を理解する

回	授業計画及び学習内容
1	授業の進め方についてのガイダンス・プレースメントテスト
2	数と式　複雑な式の展開
3	因数分解 ①
4	因数分解 ②
5	実数
6	式の値 ①
7	式の値 ②
8	一次不等式
9	二次関数　関数とグラフ ①
10	関数とグラフ ②
11	二次関数の最大最小 ①
12	二次関数の最大最小 ②
13	二次方程式 ①
14	二次方程式 ②
15	グラフとX軸の位置関係 ①
16	グラフとX軸の位置関係 ②
17	二次不等式
18	図形と計量　三角比の基礎
19	三角比の拡張
20	正弦定理と余弦定理 ①
21	正弦定理と余弦定理 ②
22	正弦定理と余弦定理 ③
23	三角形の面積、空間図形 ①
24	三角形の面積、空間図形 ②
25	図形の性質　三角形の外心、内心、重心
26	三角形の外心、内心、重心 ②
27	三角形の色々な定理 ①
28	三角形の色々な定理 ②
29	円の基本性質
30	円と直線 ①
31	円と直線 ②
32	空間図形
33	整数の性質　約数と倍数 ①
34	約数と倍数 ②
35	整数の性質の活用 ①
36	整数の性質の活用 ②

【成績評価方法】

中間試験・期末試験・授業中の課題への取り組み方等を総合的に評価。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

授業は、高校課程の数学を復習しながら演習問題を解くことが中心となる。
学生には「自分で考える」を意識するよう働きかけながら、必要であれば学生同士で「教え合い」ながら目標到達を目指す。担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章理解Ⅰ	堀切　昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

◎公務員試験の出題パターンを知り、語彙力及び読解力を高める。特に1学年は基礎固めと位置づけ、自身の読み癖の改善と解法ポイントに沿った読み取りの仕方を身に付ける。

【講義概要】

公務員試験の一次試験を通過しなくては、採用には近づけない。それを踏まえたうえで、学生に自覚を促しモチベーションを高めながら問題に向き合っていく。教養選択問題の誤肢の作られ方を見抜いたり、なぜその答えになるのかを、話し合ったり本人に解説させたりすることで、見方を深めていく。

回	授業計画及び学習内容
1	公務員試験　文章理解の出題パターンと読解のポイント
2	文章読解　現代文　趣旨把握（1）
3	現代文　趣旨把握（2）
4	国語問題　漢字の書き取り、読み
5	文章読解　現代文　合致問題（1）
6	現代文　合致問題（2）
7	国語問題　四字熟語
8	文章読解　空欄補充問題（1）
9	空欄補充問題（2）
10	国語問題　ことわざ・慣用句・故事成語
11	文章読解　文章整序（1）
12	文章整序（2）
13	文章整序（3）
14	国語問題　文法・品詞・活用（1）
15	文法・品詞・活用（2）
16	文章読解　古文　現代異義語の把握
17	古文　合致問題
18	前期試験　振り返り
19	国語問題　敬語について
20	国語問題　品詞の見分け方、まぎらわしい問題の捉え方、活用（1）
21	国語問題　品詞の見分け方、まぎらわしい問題の捉え方、活用（2）
22	過去問に沿って　現代文　趣旨把握問題（1）
23	現代文　趣旨把握問題（2）
24	現代文　合致問題（1）
25	現代文　合致問題（2）
26	古文　趣旨把握・合致問題
27	空欄補充問題
28	文章整序問題
29	過去問に沿って　国語の実践問題（1）
30	国語の実践問題（2）
31	国語の実践問題（3）
32	国語の実践問題（4）
33	国語の実践問題（5）
34	国語の実践問題（6）
35	後期試験と振り返り
36	まとめ

【成績評価方法】

・前期試験　（中間・期末テスト）及び後期試験（中間・期末テスト）の平均得点から成績評価を行なう。また、授業時の小テストを加味。なお、出席率が80%未満の場合は、成績評価の対象外とする。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式と、演習形式を交互に取り入れる。担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。

[illegible]に手はとる[illegible]、当校では平成[illegible]報告と方法にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章表現Ⅰ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・答案の書き方を学び、60分で800字程度書けるようにする。
・公務員試験のテーマに対し、自分の意見を表現できるようにする。

【講義概要】

・公務員試験小論文の答案作成法について理解し、一次試験合格を目指す。

回	授業計画及び学習内容
1	公務員試験小論文とは・・・傾向と対策/答案作成を始める前に
2	1. 作文型小論文の書き方　①「自己」を語る
3	②つらかった経験をどう乗り越えたか
4	③最近心に残った出来事
5	④これから挑戦したいこと
6	2.「あるべき公務員像」を語る　①公務員に必要なこと
7	②私の目指す公務員像
8	③住民に期待される公務員
9	3. 論文型小論文の書き方　①社会状況を説明する
10	②市民の目から見た行政
11	③少子化の背景・原因・社会的影響
12	④高齢化、人口減少社会に向けて
13	⑤ボランテイア活動の意義と行政の役割
14	本番に向けて　これまでの復習・本番対策
15	4.「政策を提言する」　①安心・安全な生活を送るために（その1）
16	②安心・安全な生活を送るために（その1）
17	前期定期試験
18	前期まとめと評価　それぞれの課題設定
19	4.「政策を提言する」　③暮らしやすいまちづくり
20	④災害に強い地域づくり（その1）
21	⑤災害に強い地域づくり（その2）
22	⑥豊かな生活を送るために（その1）
23	⑦豊かな生活を送るために（その2）
24	⑧情報社会について
25	⑨より良い環境の構築のために
26	これまでの復習・後期中間試験
27	5. 公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その1）
28	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その2）
29	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その3）
30	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その4）
31	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その5）
32	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その6）
33	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その7）
34	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その8）
35	後期期末試験
36	評価と今後の課題

【成績評価方法】

・通常授業の記述内容、書き直し提出分、中間テストと期末テスト、出席率。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・演習を中心に、個別対応を多めに取って、弱点克服にあてる。
・担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をと

通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせる。また、当校では年以上教報をと
り指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	特別講座	奥村大介	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・数的処理など数学的基盤が必要な科目の土台（割合と比、単位量当たりの大きさや確率など小学校算数から中学校数学における学習内容）をつくる。一般常識テストが充分に解答できる力をつける。

【講義概要】

・公務員試験に向けての基礎力養成を行なう。

回	授業計画及び学習内容
1	前期ガイダンス
2	文章題（その1）
3	文章題（その2）
4	代金の清算
5	割合と比
6	整数の式
7	料金の割引
8	分割払い
9	損益算
10	速さ（その1）
11	速さ（その2）
12	場合の数（その1）
13	場合の数（その2）
14	試験準備
15	前期期末試験
16	後期ガイダンス、前期確認
17	確率（その1）
18	確率（その2）
19	図表の読み取り
20	集合
21	グラフの領域
22	物流
23	ブラックボックス
24	長文読み取り
25	推論（その1）
26	推論（その2）
27	試験準備
28	後期中間試験
29	就職指導（その1）
30	就職指導（その2）
31	就職指導（その3）
32	就職指導（その4）
33	就職指導（その5）
34	就職指導（その6）
35	後期期末試験
36	後期まとめ　※以上の授業内容については学生各自の能力や要望に応じて変更する。

【成績評価方法】

・定期試験、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式を基本とするが、問題演習の時間を充分にとる。担当教員は科学史・科学論を専攻する研究者であり、これまで複数の専門学校・大学での教育歴をもつ。就職試験における一般常識科目の数学分野については、平成25年度から現在まで、総合学院テクノスカレッジ東京エアトラベル・ホテル専門学校において指導実績がある。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	自由選択科目	（別紙参照）	（別紙参照）

【授業の到達目標及びテーマ】

（別紙参照）

【講義概要】

（別紙参照）

回	授業計画及び学習内容
1	（別紙参照）
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	

【成績評価方法】

（別紙参照）

【授業の特徴・形式と教員紹介】

（別紙参照）

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科・公務員コース	2019年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	自由選択科目	（別紙参照）	（別紙参照）

【授業の到達目標及びテーマ】

（別紙参照）

【講義概要】

（別紙参照）

回	授業計画及び学習内容
1	（別紙参照）
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	

【成績評価方法】

（別紙参照）

【授業の特徴・形式と教員紹介】

（別紙参照）

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	社会科学Ⅱ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・政治や経済の仕組みを理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	社会　社会保障制度のあゆみ（その1）
3	社会　社会保障制度のあゆみ（その2）
4	社会　医療問題
5	社会　環境問題・公害問題
6	問題演習（その1）
7	問題演習（その2）
8	問題演習（その3）
9	問題演習（その4）
10	問題演習（その5）
11	問題演習（その6）
12	前期中間試験
13	まとめ
14	問題演習（その7）
15	問題演習（その8）
16	問題演習（その9）
17	前期期末試験
18	まとめ
19	自我の発達過程
20	医療事情
21	社会科学の歴史　合理論と経験論（その1）
22	社会科学の歴史　合理論と経験論（その2）
23	社会科学の歴史　ルネサンスと宗教改革（その1）
24	社会科学の歴史　ルネサンスと宗教改革（その2）
25	メディアの使い方　メディアリテラシーとクリティカルシンキング
26	後期中間試験
27	まとめ
28	日本的経営慣行（その1）
29	日本的経営慣行（その2）
30	日本の食文化
31	スポーツからわかる社会事情
32	人口減社会をめぐる課題
33	国家戦略特区をめぐる問題
34	介護をめぐる課題
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・1学年の学習を踏まえて、教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員や航空大学校等の一次試験合格をめざす。
・あわせて教科書を使用して、重点項目（「ポイント」「P」）となっているところを中心に、知識の確認・補強を行う。
・後期については、教科書を用いながら、社会科学の歴史や時事を学び、専門学校生や社会人にふさわしい社会科学の知識を身につけていく。
・担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	人文科学Ⅱ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・日本史や世界史、地理、思想を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	問題演習（その1）
3	問題演習（その2）
4	問題演習（その3）
5	問題演習（その4）
6	問題演習（その5）
7	問題演習（その6）
8	問題演習（その7）
9	問題演習（その8）
10	問題演習（その9）
11	問題演習（その10）
12	前期中間試験
13	まとめ
14	問題演習（その11）
15	問題演習（その12）
16	問題演習（その13）
17	前期期末試験
18	まとめ
19	自由への問いかけ　カントとフロムをめぐって
20	実存主義（その1）
21	実存主義（その2）
22	理性への問いかけ（その1）　フランクフルト学派をめぐって
23	理性への問いかけ（その2）　精神分析をめぐって
24	プラグマティズム（その1）
25	プラグマティズム（その2）
26	後期中間試験
27	まとめ
28	マルクスの思想（その1）
29	マルクスの思想（その2）
30	マルクスの思想（その3）
31	社会契約論（その1）
32	社会契約論（その2）
33	日本の近代思想（その1）
34	日本の近代思想（その2）
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・教科書を使用し、重点項目となっているところを中心に、できるかぎり効率的な学習を行う。
・教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員や航空大学校等の一次試験合格をめざす。
・後期については、教科書の未学習個所を用いながら人文科学系の知識を学び、専門学校生や社会人にふさわしい教養を身につけていく。
・担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す

・担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科 公務員コース	２０１９年度	２年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	情報科学Ⅱ	波多野将明	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学ぶ。
プログラミングとはどのようなものか知る。
情報セキュリティーの重要性を理解する。
java言語を用い簡単なプログラムを作成実行できるようになる。

【講義概要】

情報機器の動作原理を知る。
コンピュータで実践しながらプログラミングについて学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	ファイルシステム１　フォルダーの作成　移動１
2	ファイルシステム２　フォルダーの移動２　名前変更
3	エディターの使い方１
4	エディターの使い方２
5	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行１
6	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行２
7	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行３
8	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行４
9	数値を使ったプログラム１
10	数値を使ったプログラム２
11	数値を使ったプログラム３
12	数値を使ったプログラム４
13	文字列を使ったプログラム１
14	文字列を使ったプログラム２
15	文字列を使ったプログラム３
16	文字列を使ったプログラム４
17	文字列を使ったプログラム５
18	文字列を使ったプログラム６
19	IF文を使ったプログラム１
20	IF文を使ったプログラム２
21	IF文を使ったプログラム３
22	IF文を使ったプログラム４
23	IF文を使ったプログラム５
24	IF文を使ったプログラム６
25	IF文を使ったプログラム７
26	繰り返し処理を使ったプログラム１
27	繰り返し処理を使ったプログラム２
28	繰り返し処理を使ったプログラム３
29	繰り返し処理を使ったプログラム４
30	繰り返し処理を使ったプログラム５
31	配列を使ったプログラム１
32	配列を使ったプログラム２
33	配列を使ったプログラム３
34	配列を使ったプログラム４
35	配列を使ったプログラム５
36	配列を使ったプログラム６

【成績評価方法】

試験と課題。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

パソコンを用いて、実際に簡単なプログラムを作成しながら学ぶ。
教員はjavaによる実務開発経験がある。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅡ	杉谷武信	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会に出て、即通用するような人材を育成する。

【講義概要】

・学生に規則や礼儀を身につけさせる。
・学生一人一人を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	仕事に取り組む心構え／学生個人の把握（個人面接、SPIの実施）
2	
3	指示の受け方・報告の仕方，職場の人間関係構築について
4	
5	社会人としての基本動作とは
6	
7	社会人としての話し方，話の聞き方
8	
9	敬語の基本，間違えやすい敬語
10	
11	来客応対①　接遇とは，受付，名刺の扱い
12	
13	来客応対②　来客応対について
14	
15	訪問のマナー①　訪問時に気を付けること
16	
17	訪問のマナー②　訪問の実際 ・・・ ロールプレイング
18	
19	電話応対①　電話応対の注意点，受け方・かけ方の基本
20	
21	電話応対②　電話応対の具体例　・・・ ロールプレイング
22	
23	電話応対③　クレーム電話等の対応，携帯電話 ・・・ ロールプレイング
24	
25	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　冠
26	
27	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　婚
28	
29	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　葬
30	
31	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　祭
32	
33	ビジネス文書における注意事項
34	
35	ファイリングのコツとは
36	

【成績評価方法】

授業態度と出席状況。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1．学生個人の把握（個人面接等の徹底）・・・前・後期
2．学生生活ならびに就職活動の指導・・・前・後期
3．伝達事項・・・前・後期
※常に言葉使い等の礼儀を指導する。担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数的処理Ⅱ	佐藤 保幸	8単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前期では1年時に学習した数的処理Ⅰに引き続き，数的処理の理解を深めていくことを目的とする。そして，数的処理の問題で正答率6割を目標に，点数の取り方を身に付けてもらいたい。後期では，財務諸表を読めるようにする。「読める」と一口で言っても，単に電卓をたたいて数字を出すわけではない。財務諸表を通じて，社会を知ってもらうことが目標である。そのために，国内の世代別人口，諸外国の人口，将来価値と金利・利息，資産・負債，減価償却，年金・保険など，様々な数字を切り口に社会全体に目を向けてもらいたい。

【講義概要】

前期では，数的処理の数的推理，判断推理，空間把握，資料解釈の4分野を総合的に演習しながら理解を深めていく。さらに，各問題の難易度の見分け方や点数の取り方など，実戦的な訓練を行っていく。
後期では，数的処理で学んだ，割合，利益計算，推論，最適化，資料解釈の手法を用いて，有名企業の財務諸表の分析を行う。財務諸表は読み方だけでなく，財務諸表には何が書かれていて，何がわかるのか，逆に数字からわからないことは何かを知ることも大事である。この作業を通じて，企業(会社)の客観的な評価の仕方を学んでもらう。広い意味で，「評価」とは何かを知る機会にもしたい。

回	授業計画及び学習内容
1	数的推理復習と応用
2	数的推理復習と応用
3	数的推理演習
4	判断推理復習と応用
5	判断推理復習と応用
6	判断推理演習
7	空間把握復習と応用
8	空間把握演習
9	資料解釈復習と応用
10	資料解釈演習
11	これまでの総復習/前期中間テスト
12	数的処理演習
13	数的処理演習
14	数的処理演習
15	数的処理演習
16	これまでの総復習/前期期末テスト
17	数的処理直前演習
18	数的処理直前演習
19	お金とは/通貨/価値とは/市場
20	需要と供給，需給曲線/物価/GDPと景気/デフレ・インフレ
21	人口と労働/地価と不動産
22	経済主体(企業，家計，政府)/経済体制/アベノミクス
23	銀行の役割/信用/金利/ローンと複利計算/国債
24	消費と投資(投機と投資の違い)/後期中間テスト
25	会社とは/企業経営/原価率/売上と利益
26	営業活動とマーケティング/外部資本効果(借金・負債)のメリット・デメリット
27	財務諸表とは/BSとPLの構造と関係
28	複式簿記で記帳する。
29	有名企業の財務諸表を読む①
30	有名企業の財務諸表を読む②
31	財務諸表分析①
32	財務諸表分析②
33	財務諸表分析③
34	財務諸表分析④
35	後期期末テスト
36	会社の評価（良い会社とは何だろうか）

【成績評価方法】

成績は，中間テストと期末テスト，レポートの提出，出席率，授業態度等を総合的に勘案して決定する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

前期の数的処理で情報の整理，数値計算，そして論理や推論的手法を学び，後期では数字を切り口に社会を見ていくのはかなり目新しい試みである。皆さんの積極的な参加を期待する。担当教員の専門は応用数学であり，数学の研究のみならず，統計学などのデータ分析，最適化，数理ファイナンスなどの門外漢から見ると高度な数学を，実務的に用いて仕事をすることも多い。社会に出てから使えることを主眼に置きつつ，応用数学の面白さも伝えていきたい。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	自然科学Ⅱ	笹　茂夫	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】
＜目的・概要＞
公務員試験自然科学分野のうち出題頻度の高い10項目を扱う。

＜達成目標＞
扱う項目の基礎的問題が解けるようになること。

【講義概要】
公務員試験の自然科学分野で出題頻度の高い細胞の構造と働き、同化と異化、岩石と火山などの内容について学ぶ。年度により出題傾向が変わるため項目に変動の可能性がある。

回	授業計画及び学習内容
1	細胞の構造と働き1
2	細胞の構造と働き2
3	同化（光合成）と異化（呼吸）1
4	同化（光合成）と異化（呼吸）2
5	岩石・火山1
6	岩石・火山2
7	生物の反応と調節1
8	生物の反応と調節2
9	地球の岩圏と気圏1
10	地球の岩圏と気圏2
11	力のつりあい・運動エネルギー1
12	力のつりあい・運動エネルギー2
13	遺伝1
14	遺伝2
15	人の器官1
16	人の器官2
17	物質の性質
18	式の計算。関数

【成績評価方法】

中間・期末テスト，課題提出，小テスト，出席率を総合的に勘案して評価を行う。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】
講義に合わせた演習を毎回行う。担当教員は専門学校において電気物理分野で十分な教育経験を有する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	英語文法II	高野美智子	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家公務員・地方公務員試験の一次突破を目標とする。

【講義概要】

公務員一次試験の出題傾向から、英文読解と英文法を中心に授業を展開する。(前期)
リスニング演習を行う。(後期)

回	授業計画及び学習内容
1	英文読解、英文法(前置詞)
2	英文読解、英文法(熟語1)
3	英文読解、英文法(熟語2)
4	英文読解、英文法(熟語3)
5	英文法総復習1
6	英文法総復習2
7	英文法総復習3
8	前期　中間テスト
9	過去問演習4
10	過去問演習5
11	過去問演習6
12	過去問演習7
13	過去問演習8
14	過去問演習9
15	期末テスト対策　(まとめ)
16	前期　期末テスト
17	リスニング演習
18	リスニング演習
19	リスニング演習
20	リスニング演習
21	リスニング演習
22	リスニング演習
23	リスニング演習
24	中間テスト
25	リスニング演習
26	リスニング演習
27	リスニング演習
28	リスニング演習
29	リスニング演習
30	リスニング演習
31	リスニング演習
32	リスニング演習
33	リスニング演習
34	リスニング演習
35	リスニング演習
36	学年末テスト

【成績評価方法】

・講義全体を100点満点として採点する。{中間テスト(60点)+ 期末テスト(60点)} /2　+　平常点(出席率、提出物、集中力、積極性など)
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式を基本とする。担当教員は、北米に約3年の留学経験を持つ。英語力を生かしつつ、航空会社のCA、外資系企業の外人付秘書、人事採用担当、法務部にて弁護士アシスタント業務などの経験がある。自身の経験やエピソードを交えながら授業展開する。

TOEIC スコア:　970

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数学Ⅱ	仲田まり子	6単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

より実勢的な解法・テクニックを使いこなせるようになる

【講義概要】

公務員試験に必要とされる数学を理解する

回	授業計画及び学習内容
1	式と計算　三角関数の展開と因数分解①
2	三角関数の展開と因数分解②
3	二項定理①
4	二項定理②
5	整数の割り算、分数式①
6	整数の割り算、分数式②
7	複素数と方程式　二次方程式の解と判別式①
8	二次方程式の解と判別式②
9	解と係数の関係①
10	解と係数の関係②
11	解と係数の関係③
12	解と係数の関係④
13	剰余の定理と因数定理①
14	剰余の定理と因数定理②
15	剰余の定理と因数定理③
16	剰余の定理と因数定理④
17	高次方程式①
18	高次方程式②
19	三角関数　三角関数①
20	三角関数②
21	加法定理①
22	加法定理②
23	指数関数①
24	指数関数②
25	対数関数①
26	対数関数②
27	微分①
28	微分②
29	微分③
30	微分④
31	積分①
32	積分②
33	積分③
34	積分④
35	過去問演習①
36	過去問演習②

【成績評価方法】

中間試験・期末試験・授業中の課題への取り組み方等を総合的に評価。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

授業は、高校課程の数学を復習しながら演習問題を解くことが中心となる。
学生には「自分で考える」を意識するよう働きかけながら、必要であれば学生同士で「教え合い」ながら目標到達を目指す。担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章表現Ⅱ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・設定時間内に、作文課題の指定字数を書けるようにする。
・公務員として、また、社会人としてモラルのある意見を述べることができるようにする。

【講義概要】

公務員採用試験、一次通過に大きなウエイトを占める論文を、求められるところに沿って書き、合格を目指す。

回	授業計画及び学習内容
1	昨年度評価とそれぞれの課題・対策
2	1. 本番に向けての見直し ①「自己」を語る
3	②自分の経験を活かすために
4	③最近心に残った出来事
5	④〇〇としてやってみたいこと
6	2.「あるべき公務員像」を語る ①公務員に必要なこと
7	②理想とする公務員像
8	③住民に期待される消防官/警察官/市職員
9	3. 設問応答型論文の対処法 ①過去問テーマから各自作文
10	②過去問テーマから各自作文
11	③過去問テーマから各自作文
12	④過去問テーマから各自作文
13	⑤過去問テーマから各自作文
14	本番に向けて これまでの復習・直前対策
15	4.「政策を提言する」 ①いきいきと暮らすために
16	①いきいきと暮らすために
17	前期定期試験 / 前期まとめと評価
18	5. さまざまな視点から意見文を書く ①新聞記事・評論より問題設定する
19	②新聞記事・評論より問題設定する
20	③新聞記事・評論より問題設定する
21	④新聞記事・評論より問題設定する
22	⑤新聞記事・評論より問題設定する
23	⑥新聞記事・評論より問題設定する
24	⑦新聞記事・評論より問題設定する
25	⑧新聞記事・評論より問題設定する
26	⑨新聞記事・評論より問題設定する
27	6. 意見発表 ①自分の思いを自分の言葉で発表する
28	②自分の思いを自分の言葉で発表する
29	③自分の思いを自分の言葉で発表する
30	④自分の思いを自分の言葉で発表する
31	⑤自分の思いを自分の言葉で発表する
32	7. 様々な文章、手紙の書き方（その1）
33	様々な文章、手紙の書き方（その2）
34	様々な文章、手紙の書き方（その3）
35	後期期末試験
36	卒業にあたって

【成績評価方法】

通常授業の作文内容、提出物、中間テストと期末テスト、出席率。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・演習を中心に、個別対応を多めに取って、弱点克服にあてる。
・担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をと

通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせる。また、当校では年以上教報をと
り指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章理解Ⅱ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

文章理解Ⅰを履修してきた学生であるので、本年度の公務員採用試験を突破することを目標とし授業を展開する。

【講義概要】

前期は、公務員試験本試験にむけて過去問題を中心に力をつけていく。後期は、主に、社会に出たときに恥ずかしくないような国語力を高める授業展開をする。

回	
1	文章合致問題を解く（1）
2	文章合致問題を解く（2）
3	趣旨把握問題を解く（1）
4	趣旨把握問題を解く（2）
5	空欄補充問題を解く（1）
6	空欄補充問題を解く（2）
7	文章整序問題を解く（1）
8	文章整序問題を解く（2）
9	古文　合致問題・趣旨把握問題を解く（1）
10	古文　合致問題・趣旨把握問題を解く（2）
11	国語問題　四字熟語・故事成語・ことわざ問題を解く
12	国語問題　慣用句・同音異字語、漢字問題を解く
13	国語問題　敬語・文法問題を解く（1）
14	国語問題　敬語・文法問題を解く（2）
15	過去問題に挑戦　（1）
16	過去問題に挑戦　（2）
17	過去問題に挑戦　（3）
18	中間試験　振り返り
19	新聞記事から考える（1）
20	新聞記事から考える（2）
21	新聞記事から考える（3）
22	本の紹介と要約（1）
23	本の紹介と要約（2）
24	本の紹介と要約（3）
25	グループディスカッション（1）
26	グループディスカッション（2）
27	グループディスカッション（3）
28	グループワーク（1）
29	グループワーク（2）
30	グループワーク（3）
31	グループワーク（4）
32	いろいろな文章に触れる　業界紙・雑誌（1）
33	いろいろな文章に触れる　業界紙・雑誌（2）
34	いろいろな文章に触れる　業界紙・雑誌（3）
35	定期試験　ふりかえり
36	まとめ

【成績評価方法】

・前期試験（中間・期末テスト）、後期試験（中間・期末テスト）の平均得点から成績評価をする。グループワークなど授業への参加・意欲、提出物を加味する。なお、出席率が80%未満の場合は、成績評価の対象外とする。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

演習を中心に、個別対応を多めに取って、弱点克服にあてる。効果的な読解方法については、講義形式で、正答率を上げる取り組みも適宜行なう。担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの事方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学

看板ショーの表方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	教養Ⅱ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

年二回実施される【ビジネス能力試験（ジョブパス）】3級の合格を目指す。

【講義概要】

就職活動の準備として、社会人としてのマナーやモラルを身につけるための学習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	キャリアとは仕事へのアプローチ・身だしなみの基本
2	将来の自分。仕事への取り組み方
3	組織人としての重要な心構え・仕事の進め方
4	「お客様第一」主義・8つの意識
5	コミュニケーションとビジネスマナーの基本
6	指示の受け方と報告・連絡・相談
7	話し方と聞き方のポイント
8	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け
9	電話応対・来客応対と訪問の基本マナー
10	冠婚葬祭のマナー
11	仕事のマニュアル化
12	ビジネス文書の基本
13	統計データの作り方・読み方
14	情報収集とメディアの活用
15	会社数字の読み方
16	ネットワークと電子メールの活用
17	ビジネス用語
18	時事問題　その1
19	時事問題　その2
20	社会人としてのルールと企業倫理・コンプライアンスの重要性
21	情報収集のためのメモの取り方
22	ビジネス会話の特徴と目的
23	商談にあたっての心構え・基本行動
24	会議の基本的な流れ・議事録をまとめるポイント
25	人前で話す方法・話の構成
26	人前で話す実践編
27	プレゼンテーション（その1）
28	プレゼンテーション（その2）
29	プレゼンテーション（その3）
30	チームワークの意義と重要性
31	仕事に影響を及ぼす人間関係
32	問題発見と解決の方法
33	論理的思考法・分析の概念
34	報告書の書き方・企画書の書き方・社外文書
35	国際経済と日本経済
36	ビジネスの基本と法律

【成績評価方法】

・各課題の節目ごとにペーパーでの小テストを実施。また前期・後期それぞれの試験の平均点、及び授業内の平常点を加味する。
・検定試験合格を一つの基準とし、総合成績として評価する。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・社会生活の基礎としての自覚を持たせ、ビジネス用語や時事問題、社会状況の把握をさせる。
・担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を

[illegible]
通じて担当教員が培ったビジネスマナーや社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	心理学	仲田まり子	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

心理学的知見と理論を理解することから、自分自身を含めた人間への理解を深める

【講義概要】

人間の心の仕組み・心の働きを心理学知見と理論を通して解き明かす

回	授業計画及び学習内容
1	心理学の歴史・心の研究法
2	社会心理学とは
3	傍観者実験 ①
4	傍観者実験 ②
5	社会的促進実験 ①
6	社会的促進実験 ②
7	ホーソン実験 ①
8	ホーソン実験 ②
9	印象形成実験
10	つり橋実験
11	同調実験 ①
12	同調実験 ②
13	フットインザドア実験
14	認知的不協和実験 ①
15	認知的不協和実験 ②
16	模擬刑務所実験
17	アイヒマン実験
18	認知心理学　視覚の不思議

【成績評価方法】

中間試験・期末試験・出席。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

社会心理学初期の実験を通して、人間の行動とその背後にある「心」の関係を理解する。担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 公務員コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ケーススタディ	瀬戸口　仁	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

公務員や社会人にふさわしい倫理・道徳観ならびに知識を身につける。

【講義概要】

行政や民間企業など実社会で働くためには、国民や利用者に奉仕する意識が欠かせないし、また様々の不祥事を絶対に起こさないという意識が必要である。そこで、この授業では、行政に関連するさまざまの問題や課題を確認したうえで、関連する法規や制度に依拠しつつ、それらの問題にどう対応すべきかを考えていく。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	公務員の不祥事対策　セクシャルハラスメント
3	公務員の不祥事対策　パワーハラスメント
4	どうすれば高齢者に社会保障制度を知ってもらえるか
5	男女共同参画社会をめざして
6	大規模水害対策
7	子どもの貧困対策
8	児童虐待対策
9	個人情報保護法を踏まえてどのように業務に取り組むか
10	特定秘密保護法を踏まえてどのように業務に取り組むか
11	マイナンバー制度について考える
12	前期中間試験
13	規制緩和の意義と問題点
14	憲法改正と国民投票法
15	討論の仕方（その１）
16	討論の仕方（その２）
17	前期期末試験
18	まとめ
19	後期ガイダンス
20	公務員の仕事の特徴　避難勧告を例に
21	公務員の仕事の特徴　海上保安庁を例に
22	公務員の仕事の特徴　警察を例に
23	公務員の仕事の特徴　租税や生活保護を例に
24	公務員の仕事の特徴　し尿処理を例に
25	公務員の仕事の特徴　ごみ処理を例に
26	性的犯罪に関する治安対策について
27	薬物規制について
28	タトゥーの是非
29	障害者の社会参加をめぐる話題
30	現代家族の形態
31	リスク社会をどう生きるか
32	表現の自由をめぐる問題（その１）
33	表現の自由をめぐる問題（その２）
34	混迷する世界情勢をどう生きるか
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・毎週、前週に話題となった時事問題を取り上げ、解説。各自の意見、感想を原稿用紙に書かせ、発表させる。なお、授業実施時点の社会情勢の変化に応じて、授業内容を適宜変更する。
・担当教員は、サンケイスポーツ新聞社で記者として11年間プロ野球を担当。メジャーリーグを始めとする4大プロスポーツ、オリンピック、ワールドカップ等を取材。のち、産経新聞で記者として1年間政治等を取材。そのほか、東北福祉大学等で講師を担当。全国で公演活動を展開。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	人文科学Ⅰ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・日本史や世界史、地理、思想を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	日本史　原始・古代の社会(その1)
3	日本史　原始・古代の社会(その2)
4	日本史　原始・古代の社会(その3)
5	日本史　中世の社会(その1)
6	日本史　中世の社会(その2)
7	日本史　中世の社会(その3)
8	日本史　近世の社会(その1)
9	日本史　近世の社会(その2)
10	日本史　近世の社会(その3)
11	日本史　近・現代の社会(その1)
12	前期中間試験
13	まとめ
14	日本史　近・現代の社会(その2)
15	日本史　近・現代の社会(その3)
16	倫理　西洋思想
17	前期期末試験
18	まとめ
19	倫理　日本の思想
20	地理　気候と土壌
21	地理　日本の地理
22	地理　ヨーロッパの地理
23	世界史　西洋史(その1)
24	世界史　西洋史(その2)
25	世界史　西洋史(その3)
26	後期中間試験
27	まとめ
28	世界史　西洋史(その4)
29	世界史　中国史(その1)
30	世界史　中国史(その2)
31	世界史　中国史(その3)
32	地理　地図情報
33	地理　地球環境
34	地理　アジアの地理
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・教科書を使用し、重点項目となっているところを中心に、できるかぎり効率的な学習を行う。
・教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員の一次試験合格をめざす。
・担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す

とは？

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	社会科学Ⅰ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・政治や経済の仕組みを理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	政治　民主政治の基本原理と制度(その1)
3	政治　民主政治の基本原理と制度(その2)
4	政治　日本国憲法の基本原理と基本的人権(その1)
5	政治　日本国憲法の基本原理と基本的人権(その2)
6	政治　日本国憲法の基本原理と基本的人権(その3)
7	政治　日本国憲法の統治機構(その1)
8	政治　日本国憲法の統治機構(その2)
9	政治　日本国憲法の統治機構(その3)
10	政治　日本国憲法の統治機構(その4)
11	政治　政治の諸問題(その1)
12	前期中間試験
13	政治　政治の諸問題(その2)
14	政治　政治の諸問題(その3)
15	政治　国際政治(その1)
16	政治　国際政治(その2)
17	前期期末試験
18	政治　国政政治(その3)
19	経済　市場経済(その1)
20	経済　市場経済(その2)
21	経済　市場経済(その3)
22	経済　国民経済の流れ(その1)
23	経済　国民経済の流れ(その2)
24	経済　国民経済の流れ(その3)
25	経済　国民経済の流れ(その4)
26	後期中間試験
27	経済　日本経済の発展(その1)
28	経済　日本経済の発展(その2)
29	経済　国際経済の動向と国際協力(その1)
30	経済　国際経済の動向と国際協力(その2)
31	社会　労働問題と消費者問題(その1)
32	社会　労働問題と消費者問題(その2)
33	社会　人口問題(その1)
34	社会　人口問題(その2)
35	後期期末試験
36	社会　地球環境問題

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・教科書を使用し、重点項目(「ポイント」「P」)となっているところを中心に、できるかぎり効率的な学習を行う。
・教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員や航空大学校等の一次試験合格をめざす。
・担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅠ	杉谷武信	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会に出て、即通用するような人材を育成する。

【講義概要】

・学生に規則や礼儀を身につけさせる。
・学生一人一人を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	仕事に取り組む心構え／学生個人の把握（個人面接、SPIの実施）
2	
3	指示の受け方・報告の仕方，職場の人間関係構築について
4	
5	社会人としての基本動作とは
6	
7	社会人としての話し方，話の聞き方
8	
9	敬語の基本，間違えやすい敬語
10	
11	来客応対①　接遇とは，受付，名刺の扱い
12	
13	来客応対②　来客応対について
14	
15	訪問のマナー①　訪問時に気を付けること
16	
17	訪問のマナー②　訪問の実際 ・・・ ロールプレイング
18	
19	電話応対①　電話応対の注意点，受け方・かけ方の基本
20	
21	電話応対②　電話応対の具体例　・・・ ロールプレイング
22	
23	電話応対③　クレーム電話等の対応，携帯電話 ・・・ ロールプレイング
24	
25	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　冠
26	
27	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　婚
28	
29	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　葬
30	
31	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　祭
32	
33	ビジネス文書における注意事項
34	
35	ファイリングのコツとは
36	

【成績評価方法】

授業態度と出席状況。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1．学生個人の把握（個人面接等の徹底）・・・前・後期
2．学生生活ならびに就職活動の指導・・・前・後期
3．伝達事項・・・前・後期
※常に言葉使い等の礼儀を指導する。担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	情報科学Ⅰ	新井愛美	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基礎知識を広く学習し、情報の概要を身に付ける。
就職後、会社等で使用するパソコン業務をスムーズに行えるようにすることを目標とする。

【講義概要】

前期は一般的に使用されているアプリケーション（Word, Excel, PowerPoint）の基本操作をマスターする。
後期は前期に行ったことを踏まえ、応用力を付けて実務で役立つようにする。

回	授業計画及び学習内容
1	授業説明、フォルダ構成、文字入力など
2	Word　基本機能
3	Word　表作成
4	Word　図形の作成
5	Word　基本総合
6	Word　テスト
7	Excel　基本機能
8	Excel　計算式・関数
9	Excel　グラフ
10	Excel　絶対参照
11	Excel　基本総合
12	Excel　テスト
13	PowerPoint　基本機能
14	PowerPoint　プレゼン資料作成
15	PowerPoint プレゼン
16	Word応用　DTPとは
17	Word応用　チラシ作成
18	Word応用　チラシ作成
19	Word応用　チラシ課題制作
20	Excel応用　3D集計、シートの編集
21	Excel応用　個数の関数、順位の関数
22	Excel応用　データベース
23	Excel応用　IF関数1
24	Excel応用　IF関数2
25	Excel応用　IF関数3
26	Excel応用　倫理関数
27	Excel応用　VLOOKUP関数
28	Excel応用　条件付き書式、シートの保護、その他便利な機能
29	Excel応用　総合問題2
30	HTML＆CSS　Webページ作成1
31	HTML＆CSS　Webページ作成2
32	HTML＆CSS　Webページ作成3
33	HTML＆CSS　Webページ作成4
34	情報概論、情報社会のモラル、知的財産権
35	テスト
36	テスト返却とまとめ

【成績評価方法】

出席状況、中間テストと期末テスト。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

社会人に必要なアプリケーションを用いて、対話形式で授業を行う。担当教員は専門学校において情報分野で十分な教育経験を有す。過去、企業研修や大学講座を担当した経験あり。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数的処理Ⅰ	佐藤 保幸	8単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

各種公務員試験で出題割合の最も多い，数的処理の問題がどのようなものかを知り，解けるようにすることが目標である。本講義では数的処理の問題をテーマごとに分類し，論点とその解法を身につける。
文章理解，数学，自然科学と重複，関連することが多い。両輪となって理解できるとよい。

【講義概要】

数的処理とは，文章や資料を読み，表な図を書きながら情報を整理し，数学の知識を用いて問題を解く，知能系の科目である。公務員試験だけでなく，就職試験でも類似の問題が出題され，数的処理自体が，受験者の知能を測定するツールとしてだけでなく，社会に出て仕事を遂行する実務能力を測るツールとしても扱われている。数的処理と聞くと数学と勘違いしている学生が散見されるが，数学とは異なる。勿論，必要最低限の数学を使いはするが，文章をしっかりと正確に読む「読解力」が強く要求される科目であり，文章の読み方などに焦点を当てて講義をしていく。

回	授業計画及び学習内容
1	計算/方程式の基礎
2	文章題(連立方程式，不等式，不定方程式)
3	文章題(比と割合，濃度，損益算)
4	速さ(速さの3要素，旅人算，周回算，時計算，ダイヤグラム)
5	速さ(流水算，通過算，仕事算，ニュートン算)
6	整数問題(約数・倍数，素数，剰余)
7	整数問題(規則性，数列，虫食い・覆面算，魔法陣)
8	場合の数
9	確率
10	平面図形(三角形，多角形，円)
11	これまでの総復習/前期中間テスト
12	集合(ベン図，カルノー表・キャロル表，線分図)
13	論理(全称命題と存在命題，ベン図，真偽表など)
14	対応関係
15	試合(総当たり戦，対戦日程，トーナメント戦)
16	これまでの総復習/前期期末テスト
17	順序関係(順位，数量)
18	位置関係(方位，部屋割り，座席表)
19	数量推理/操作手順
20	証言推理
21	立体図形の基礎/正多面体とその展開図
22	立体の切断/スライス法
23	投影図/位相図
24	これまでの総復習/後期中間テスト
25	サイコロと五面図/平面パズル
26	軌跡
27	回転体/円盤の回転
28	資料解釈の基礎/実数の表
29	構成比/割合
30	指数
31	対前年増加率
32	これまでの総復習/後期期末テスト
33	相関図
34	様々な資料
35	最適化(線形計画法，PERT法)
36	その他

【成績評価方法】

成績は，中間テストと期末テスト，出席率，授業態度等を総合的に勘案して決定する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

「わかった！」は当然大事なことである。しかし，最も大事なことは「できる」ようになることである。そこで，講師オリジナルのレジュメで基礎を学び，演習書で演習する，という形式を取る。そのために，問題を数多く解き，繰り返し反復する。これは，各自が歯を食いしばって行わなければならない。担当教員の専門は応用数学(数理物理学)だが，数学の応用範囲は幅広く，自ずと専門対象も幅広く扱っている。実務的な応用例を紹介しながら，難しいことをかみ砕いてわかりやすく伝えていきたい。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	英語文法Ⅰ	高野美智子	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家公務員・地方公務員試験の一次突破を目標とする。

【講義概要】

公務員一次試験の出題傾向から、英文読解と英文法を中心に授業を展開する。

回	授業計画及び学習内容
1	英文読解、英文法(物質名詞の数え方)
2	英文読解、英文法(命令文 ＋ and/ or)
3	英文読解、英文法(There is/are ～ 構文)
4	英文読解、英文法(不定詞 1)
5	英文読解、英文法(不定詞 2)
6	英文読解、英文法(不定詞 3)
7	中間テスト対策 (まとめ)
8	前期 中間テスト
9	英文読解、英文法(動名詞1)
10	英文読解、英文法(動名詞2)
11	英文読解、英文法(使役動詞、知覚動詞)
12	英文読解、英文法(5文型)
13	英文読解、英文法(現在完了形1)
14	英文読解、英文法(現在完了形2-3)
15	期末テスト対策 (まとめ)
16	前期 期末テスト
17	英文読解、英文法(自動詞と他動詞)
18	英文読解、英文法(仮定法1)
19	英文読解、英文法(仮定法2)
20	英文読解、英文法(関係詞1)
21	英文読解、英文法(関係詞2)
22	英文読解、英文法(関係詞3)
23	英文読解、英文法(不定代名詞)
24	試験対策(まとめ)
25	後期 中間テスト
26	英文読解、英文法(現在分詞と過去分詞)
27	英文読解、英文法(分詞構文1)
28	英文読解、英文法(分詞構文2)
29	英文読解、英文法(比較1)
30	英文読解、英文法(比較2)
31	英文読解、英文法(比較3)
32	英文読解、英文法(自動詞と他動詞)
33	英文読解、英文法(接続詞)
34	英文読解、英文法(無生物主語)
35	試験対策(まとめ)
36	学年末テスト

【成績評価方法】

・講義全体を100点満点として採点する。{中間テスト(60点)＋ 期末テスト(60点)} /2 ＋
　平常点(出席率、提出物、集中力、積極性など)
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式を基本とする。担当教員は、北米に約3年の留学経験を持つ。英語力を生かしつつ、航空会社のCA、外資系企業の外人付秘書、人事採用担当、法務部にて弁護士アシスタント業務などの経験がある。自身の経験やエピソードを交えながら授業展開する。

TOEIC スコア： 970

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数学Ⅰ	仲田まり子	8単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

高校数学Ⅰで学んだ公式や定理を理解し使いこなせるようになる

【講義概要】

公務員試験に必要とされる数学を理解する

回	授業計画及び学習内容
1	授業の進め方についてのガイダンス・プレースメントテスト
2	数と式　複雑な式の展開
3	因数分解 ①
4	因数分解 ②
5	実数
6	式の値 ①
7	式の値 ②
8	一次不等式
9	二次関数　関数とグラフ ①
10	関数とグラフ ②
11	二次関数の最大最小 ①
12	二次関数の最大最小 ②
13	二次方程式 ①
14	二次方程式 ②
15	グラフとX軸の位置関係 ①
16	グラフとX軸の位置関係 ②
17	二次不等式
18	図形と計量　三角比の基礎
19	三角比の拡張
20	正弦定理と余弦定理 ①
21	正弦定理と余弦定理 ②
22	正弦定理と余弦定理 ③
23	三角形の面積、空間図形 ①
24	三角形の面積、空間図形 ②
25	図形の性質　三角形の外心、内心、重心
26	三角形の外心、内心、重心 ②
27	三角形の色々な定理 ①
28	三角形の色々な定理 ②
29	円の基本性質
30	円と直線 ①
31	円と直線 ②
32	空間図形
33	整数の性質　約数と倍数 ①
34	約数と倍数 ②
35	整数の性質の活用 ①
36	整数の性質の活用 ②

【成績評価方法】

中間試験・期末試験・授業中の課題への取り組み方等を総合的に評価。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

授業は、高校課程の数学を復習しながら演習問題を解くことが中心となる。
学生には「自分で考える」を意識するよう働きかけながら、必要であれば学生同士で「教え合い」ながら目標到達を目指す。担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章理解Ⅰ	堀切　昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

◎公務員試験の出題パターンを知り、語彙力及び読解力を高める。特に1学年は基礎固めと位置づけ、自身の読み癖の改善と解法ポイントに沿った読み取りの仕方を身に付ける。

【講義概要】

公務員試験の一次試験を通過しなくては、採用には近づけない。それを踏まえたうえで、学生に自覚を促しモチベーションを高めながら問題に向き合っていく。教養選択問題の誤肢の作られ方を見抜いたり、なぜその答えになるのかを、話し合ったり本人に解説させたりすることで、見方を深めていく。

回	授業計画及び学習内容
1	公務員試験　文章理解の出題パターンと読解のポイント
2	文章読解　現代文　趣旨把握（1）
3	現代文　趣旨把握（2）
4	国語問題　漢字の書き取り、読み
5	文章読解　現代文　合致問題（1）
6	現代文　合致問題（2）
7	国語問題　四字熟語
8	文章読解　空欄補充問題（1）
9	空欄補充問題（2）
10	国語問題　ことわざ・慣用句・故事成語
11	文章読解　文章整序（1）
12	文章整序（2）
13	文章整序（3）
14	国語問題　文法・品詞・活用（1）
15	文法・品詞・活用（2）
16	文章読解　古文　現代異義語の把握
17	古文　合致問題
18	前期試験　振り返り
19	国語問題　敬語について
20	国語問題　品詞の見分け方、まぎらわしい問題の捉え方、活用（1）
21	国語問題　品詞の見分け方、まぎらわしい問題の捉え方、活用（2）
22	過去問に沿って　現代文　趣旨把握問題（1）
23	現代文　趣旨把握問題（2）
24	現代文　合致問題（1）
25	現代文　合致問題（2）
26	古文　趣旨把握・合致問題
27	空欄補充問題
28	文章整序問題
29	過去問に沿って　国語の実践問題（1）
30	国語の実践問題（2）
31	国語の実践問題（3）
32	国語の実践問題（4）
33	国語の実践問題（5）
34	国語の実践問題（6）
35	後期試験と振り返り
36	まとめ

【成績評価方法】

・前期試験　（中間・期末テスト）及び後期試験（中間・期末テスト）の平均得点から成績評価を行なう。また、授業時の小テストを加味。なお、出席率が80%未満の場合は、成績評価の対象外とする。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式と、演習形式を交互に取り入れる。担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。

[illegible]に手はとる[illegible]、当校では平成[illegible]報告と方法にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章表現Ⅰ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・答案の書き方を学び、60分で800字程度書けるようにする。
・公務員試験のテーマに対し、自分の意見を表現できるようにする。

【講義概要】

・公務員試験小論文の答案作成法について理解し、一次試験合格を目指す。

回	授業計画及び学習内容
1	公務員試験小論文とは・・・傾向と対策/答案作成を始める前に
2	1. 作文型小論文の書き方　①「自己」を語る
3	②つらかった経験をどう乗り越えたか
4	③最近心に残った出来事
5	④これから挑戦したいこと
6	2.「あるべき公務員像」を語る　①公務員に必要なこと
7	②私の目指す公務員像
8	③住民に期待される公務員
9	3. 論文型小論文の書き方　①社会状況を説明する
10	②市民の目から見た行政
11	③少子化の背景・原因・社会的影響
12	④高齢化、人口減少社会に向けて
13	⑤ボランテイア活動の意義と行政の役割
14	本番に向けて　これまでの復習・本番対策
15	4.「政策を提言する」　①安心・安全な生活を送るために（その1）
16	②安心・安全な生活を送るために（その1）
17	前期定期試験
18	前期まとめと評価　それぞれの課題設定
19	4.「政策を提言する」　③暮らしやすいまちづくり
20	④災害に強い地域づくり（その1）
21	⑤災害に強い地域づくり（その2）
22	⑥豊かな生活を送るために（その1）
23	⑦豊かな生活を送るために（その2）
24	⑧情報社会について
25	⑨より良い環境の構築のために
26	これまでの復習・後期中間試験
27	5. 公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その1）
28	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その2）
29	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その3）
30	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その4）
31	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その5）
32	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その6）
33	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その7）
34	公務員試験論文過去問テーマに挑戦（その8）
35	後期期末試験
36	評価と今後の課題

【成績評価方法】

・通常授業の記述内容、書き直し提出分、中間テストと期末テスト、出席率。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・演習を中心に、個別対応を多めに取って、弱点克服にあてる。
・担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をと

通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせる。また、当校では年以上教報をと
り指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	特別講座	奥村大介	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・数的処理など数学的基盤が必要な科目の土台（割合と比、単位量当たりの大きさや確率など小学校算数から中学校数学における学習内容）をつくる。一般常識テストが充分に解答できる力をつける。

【講義概要】

・公務員試験に向けての基礎力養成を行なう。

回	授業計画及び学習内容
1	前期ガイダンス
2	文章題（その1）
3	文章題（その2）
4	代金の清算
5	割合と比
6	整数の式
7	料金の割引
8	分割払い
9	損益算
10	速さ（その1）
11	速さ（その2）
12	場合の数（その1）
13	場合の数（その2）
14	試験準備
15	前期期末試験
16	後期ガイダンス、前期確認
17	確率（その1）
18	確率（その2）
19	図表の読み取り
20	集合
21	グラフの領域
22	物流
23	ブラックボックス
24	長文読み取り
25	推論（その1）
26	推論（その2）
27	試験準備
28	後期中間試験
29	就職指導（その1）
30	就職指導（その2）
31	就職指導（その3）
32	就職指導（その4）
33	就職指導（その5）
34	就職指導（その6）
35	後期期末試験
36	後期まとめ　※以上の授業内容については学生各自の能力や要望に応じて変更する。

【成績評価方法】

・定期試験、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式を基本とするが、問題演習の時間を充分にとる。担当教員は科学史・科学論を専攻する研究者であり、これまで複数の専門学校・大学での教育歴をもつ。就職試験における一般常識科目の数学分野については、平成25年度から現在まで、総合学院テクノスカレッジ東京エアトラベル・ホテル専門学校において指導実績がある。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	社会科学Ⅱ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・政治や経済の仕組みを理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	社会　社会保障制度のあゆみ（その1）
3	社会　社会保障制度のあゆみ（その2）
4	社会　医療問題
5	社会　環境問題・公害問題
6	問題演習（その1）
7	問題演習（その2）
8	問題演習（その3）
9	問題演習（その4）
10	問題演習（その5）
11	問題演習（その6）
12	前期中間試験
13	まとめ
14	問題演習（その7）
15	問題演習（その8）
16	問題演習（その9）
17	前期期末試験
18	まとめ
19	自我の発達過程
20	医療事情
21	社会科学の歴史　合理論と経験論（その1）
22	社会科学の歴史　合理論と経験論（その2）
23	社会科学の歴史　ルネサンスと宗教改革（その1）
24	社会科学の歴史　ルネサンスと宗教改革（その2）
25	メディアの使い方　メディアリテラシーとクリティカルシンキング
26	後期中間試験
27	まとめ
28	日本的経営慣行（その1）
29	日本的経営慣行（その2）
30	日本の食文化
31	スポーツからわかる社会事情
32	人口減社会をめぐる課題
33	国家戦略特区をめぐる問題
34	介護をめぐる課題
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・1学年の学習を踏まえて、教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員や航空大学校等の一次試験合格をめざす。
・あわせて教科書を使用して、重点項目（「ポイント」「P」）となっているところを中心に、知識の確認・補強を行う。
・後期については、教科書を用いながら、社会科学の歴史や時事を学び、専門学校生や社会人にふさわしい社会科学の知識を身につけていく。
・担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	人文科学Ⅱ	杉谷武信	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・地方公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。

【講義概要】

・日本史や世界史、地理、思想を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	問題演習（その1）
3	問題演習（その2）
4	問題演習（その3）
5	問題演習（その4）
6	問題演習（その5）
7	問題演習（その6）
8	問題演習（その7）
9	問題演習（その8）
10	問題演習（その9）
11	問題演習（その10）
12	前期中間試験
13	まとめ
14	問題演習（その11）
15	問題演習（その12）
16	問題演習（その13）
17	前期期末試験
18	まとめ
19	自由への問いかけ　カントとフロムをめぐって
20	実存主義（その1）
21	実存主義（その2）
22	理性への問いかけ（その1）　フランクフルト学派をめぐって
23	理性への問いかけ（その2）　精神分析をめぐって
24	プラグマティズム（その1）
25	プラグマティズム（その2）
26	後期中間試験
27	まとめ
28	マルクスの思想（その1）
29	マルクスの思想（その2）
30	マルクスの思想（その3）
31	社会契約論（その1）
32	社会契約論（その2）
33	日本の近代思想（その1）
34	日本の近代思想（その2）
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・教科書を使用し、重点項目となっているところを中心に、できるかぎり効率的な学習を行う。
・教科書の練習問題や過去問、オリジナル問題を解きながら、公務員や航空大学校等の一次試験合格をめざす。
・後期については、教科書の未学習個所を用いながら人文科学系の知識を学び、専門学校生や社会人にふさわしい教養を身につけていく。
・担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す

・担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科 大学コース	２０１９年度	２年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	情報科学Ⅱ	波多野将明	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学ぶ。
プログラミングとはどのようなものか知る。
情報セキュリティーの重要性を理解する。
java言語を用い簡単なプログラムを作成実行できるようになる。

【講義概要】

情報機器の動作原理を知る。
コンピュータで実践しながらプログラミングについて学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	ファイルシステム１　フォルダーの作成　移動1
2	ファイルシステム２　フォルダーの移動２　名前変更
3	エディターの使い方１
4	エディターの使い方２
5	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行１
6	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行２
7	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行３
8	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行４
9	数値を使ったプログラム１
10	数値を使ったプログラム２
11	数値を使ったプログラム３
12	数値を使ったプログラム４
13	文字列を使ったプログラム１
14	文字列を使ったプログラム２
15	文字列を使ったプログラム３
16	文字列を使ったプログラム４
17	文字列を使ったプログラム５
18	文字列を使ったプログラム６
19	IF文を使ったプログラム１
20	IF文を使ったプログラム２
21	IF文を使ったプログラム３
22	IF文を使ったプログラム４
23	IF文を使ったプログラム５
24	IF文を使ったプログラム６
25	IF文を使ったプログラム７
26	繰り返し処理を使ったプログラム１
27	繰り返し処理を使ったプログラム２
28	繰り返し処理を使ったプログラム３
29	繰り返し処理を使ったプログラム４
30	繰り返し処理を使ったプログラム５
31	配列を使ったプログラム１
32	配列を使ったプログラム２
33	配列を使ったプログラム３
34	配列を使ったプログラム４
35	配列を使ったプログラム５
36	配列を使ったプログラム６

【成績評価方法】

試験と課題。
評価基準は100点～90点がＳ、89点～80点がＡ、79点～70点がＢ、69点～60点がＣ、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

パソコンを用いて、実際に簡単なプログラムを作成しながら学ぶ。
教員はjavaによる実務開発経験がある。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅡ	杉谷武信	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会に出て、即通用するような人材を育成する。

【講義概要】

・学生に規則や礼儀を身につけさせる。
・学生一人一人を理解する。

回	授業計画及び学習内容
1	仕事に取り組む心構え／学生個人の把握（個人面接、SPIの実施）
2	
3	指示の受け方・報告の仕方，職場の人間関係構築について
4	
5	社会人としての基本動作とは
6	
7	社会人としての話し方，話の聞き方
8	
9	敬語の基本，間違えやすい敬語
10	
11	来客応対①　接遇とは，受付，名刺の扱い
12	
13	来客応対②　来客応対について
14	
15	訪問のマナー①　訪問時に気を付けること
16	
17	訪問のマナー②　訪問の実際 ・・・ ロールプレイング
18	
19	電話応対①　電話応対の注意点，受け方・かけ方の基本
20	
21	電話応対②　電話応対の具体例　・・・ ロールプレイング
22	
23	電話応対③　クレーム電話等の対応，携帯電話 ・・・ ロールプレイング
24	
25	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　冠
26	
27	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　婚
28	
29	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　葬
30	
31	冠婚葬祭（人生の節目の祝，季節の行事）　祭
32	
33	ビジネス文書における注意事項
34	
35	ファイリングのコツとは
36	

【成績評価方法】

授業態度と出席状況。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1．学生個人の把握（個人面接等の徹底）・・・前・後期
2．学生生活ならびに就職活動の指導・・・前・後期
3．伝達事項・・・前・後期
※常に言葉使い等の礼儀を指導する。担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有

常に自発的・主体的な活動を指導する。担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有
し、また大学において社会学指導の経験を有す。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数的処理Ⅱ	佐藤 保幸	8単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前期では1年時に学習した数的処理Ⅰに引き続き，数的処理の理解を深めていくことを目的とする。そして，数的処理の問題で正答率6割を目標に，点数の取り方を身に付けてもらいたい。後期では，財務諸表を読めるようにする。「読める」と一口で言っても，単に電卓をたたいて数字を出すわけではない。財務諸表を通じて，社会を知ってもらうことが目標である。そのために，国内の世代別人口，諸外国の人口，将来価値と金利・利息，資産・負債，減価償却，年金・保険など，様々な数字を切り口に社会全体に目を向けてもらいたい。

【講義概要】

前期では，数的処理の数的推理，判断推理，空間把握，資料解釈の4分野を総合的に演習しながら理解を深めていく。さらに，各問題の難易度の見分け方や点数の取り方など，実戦的な訓練を行っていく。
後期では，数的処理で学んだ，割合，利益計算，推論，最適化，資料解釈の手法を用いて，有名企業の財務諸表の分析を行う。財務諸表は読み方だけでなく，財務諸表には何が書かれていて，何がわかるのか，逆に数字からわからないことは何かを知ることも大事である。この作業を通じて，企業(会社)の客観的な評価の仕方を学んでもらう。広い意味で，「評価」とは何かを知る機会にもしたい。

回	授業計画及び学習内容
1	数的推理復習と応用
2	数的推理復習と応用
3	数的推理演習
4	判断推理復習と応用
5	判断推理復習と応用
6	判断推理演習
7	空間把握復習と応用
8	空間把握演習
9	資料解釈復習と応用
10	資料解釈演習
11	これまでの総復習/前期中間テスト
12	数的処理演習
13	数的処理演習
14	数的処理演習
15	数的処理演習
16	これまでの総復習/前期期末テスト
17	数的処理直前演習
18	数的処理直前演習
19	お金とは/通貨/価値とは/市場
20	需要と供給，需給曲線/物価/GDPと景気/デフレ・インフレ
21	人口と労働/地価と不動産
22	経済主体(企業，家計，政府)/経済体制/アベノミクス
23	銀行の役割/信用/金利/ローンと複利計算/国債
24	消費と投資(投機と投資の違い)/後期中間テスト
25	会社とは/企業経営/原価率/売上と利益
26	営業活動とマーケティング/外部資本効果(借金・負債)のメリット・デメリット
27	財務諸表とは/BSとPLの構造と関係
28	複式簿記で記帳する。
29	有名企業の財務諸表を読む①
30	有名企業の財務諸表を読む②
31	財務諸表分析①
32	財務諸表分析②
33	財務諸表分析③
34	財務諸表分析④
35	後期期末テスト
36	会社の評価（良い会社とは何だろうか）

【成績評価方法】

成績は，中間テストと期末テスト，レポートの提出，出席率，授業態度等を総合的に勘案して決定する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

前期の数的処理で情報の整理，数値計算，そして論理や推論的手法を学び，後期では数字を切り口に社会を見ていくのはかなり目新しい試みである。皆さんの積極的な参加を期待する。担当教員の専門は応用数学であり，数学の研究のみならず，統計学などのデータ分析，最適化，数理ファイナンスなどの門外漢から見ると高度な数学を，実務的に用いて仕事をすることも多い。社会に出てから使えることを主眼に置きつつ，応用数学の面白さも伝えていきたい。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	自然科学Ⅱ	笹　茂夫	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】
＜目的・概要＞
公務員試験自然科学分野のうち出題頻度の高い10項目を扱う。

＜達成目標＞
扱う項目の基礎的問題が解けるようになること。

【講義概要】
公務員試験の自然科学分野で出題頻度の高い細胞の構造と働き、同化と異化、岩石と火山などの内容について学ぶ。年度により出題傾向が変わるため項目に変動の可能性がある。

回	授業計画及び学習内容
1	細胞の構造と働き1
2	細胞の構造と働き2
3	同化（光合成）と異化（呼吸）1
4	同化（光合成）と異化（呼吸）2
5	岩石・火山1
6	岩石・火山2
7	生物の反応と調節1
8	生物の反応と調節2
9	地球の岩圏と気圏1
10	地球の岩圏と気圏2
11	力のつりあい・運動エネルギー1
12	力のつりあい・運動エネルギー2
13	遺伝1
14	遺伝2
15	人の器官1
16	人の器官2
17	物質の性質
18	式の計算。関数

【成績評価方法】

中間・期末テスト，課題提出，小テスト，出席率を総合的に勘案して評価を行う。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】
講義に合わせた演習を毎回行う。担当教員は専門学校において電気物理分野で十分な教育経験を有する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	英語文法II	高野美智子	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家公務員・地方公務員試験の一次突破を目標とする。

【講義概要】

公務員一次試験の出題傾向から、英文読解と英文法を中心に授業を展開する。(前期)
リスニング演習を行う。(後期)

回	授業計画及び学習内容
1	英文読解、英文法(前置詞)
2	英文読解、英文法(熟語1)
3	英文読解、英文法(熟語2)
4	英文読解、英文法(熟語3)
5	英文法総復習1
6	英文法総復習2
7	英文法総復習3
8	前期　中間テスト
9	過去問演習4
10	過去問演習5
11	過去問演習6
12	過去問演習7
13	過去問演習8
14	過去問演習9
15	期末テスト対策　(まとめ)
16	前期　期末テスト
17	リスニング演習
18	リスニング演習
19	リスニング演習
20	リスニング演習
21	リスニング演習
22	リスニング演習
23	リスニング演習
24	中間テスト
25	リスニング演習
26	リスニング演習
27	リスニング演習
28	リスニング演習
29	リスニング演習
30	リスニング演習
31	リスニング演習
32	リスニング演習
33	リスニング演習
34	リスニング演習
35	リスニング演習
36	学年末テスト

【成績評価方法】

・講義全体を100点満点として採点する。{中間テスト(60点)+ 期末テスト(60点)} /2　+　平常点(出席率、提出物、集中力、積極性など)
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式を基本とする。担当教員は、北米に約3年の留学経験を持つ。英語力を生かしつつ、航空会社のCA、外資系企業の外人付秘書、人事採用担当、法務部にて弁護士アシスタント業務などの経験がある。自身の経験やエピソードを交えながら授業展開する。

TOEIC スコア： 970

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	数学Ⅱ	仲田まり子	6単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

より実勢的な解法・テクニックを使いこなせるようになる

【講義概要】

公務員試験に必要とされる数学を理解する

回	授業計画及び学習内容
1	式と計算　三角関数の展開と因数分解①
2	三角関数の展開と因数分解②
3	二項定理①
4	二項定理②
5	整数の割り算、分数式①
6	整数の割り算、分数式②
7	複素数と方程式　二次方程式の解と判別式①
8	二次方程式の解と判別式②
9	解と係数の関係①
10	解と係数の関係②
11	解と係数の関係③
12	解と係数の関係④
13	剰余の定理と因数定理①
14	剰余の定理と因数定理②
15	剰余の定理と因数定理③
16	剰余の定理と因数定理④
17	高次方程式①
18	高次方程式②
19	三角関数　三角関数①
20	三角関数②
21	加法定理①
22	加法定理②
23	指数関数①
24	指数関数②
25	対数関数①
26	対数関数②
27	微分①
28	微分②
29	微分③
30	微分④
31	積分①
32	積分②
33	積分③
34	積分④
35	過去問演習①
36	過去問演習②

【成績評価方法】

中間試験・期末試験・授業中の課題への取り組み方等を総合的に評価。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

授業は、高校課程の数学を復習しながら演習問題を解くことが中心となる。
学生には「自分で考える」を意識するよう働きかけながら、必要であれば学生同士で「教え合い」ながら目標到達を目指す。担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章表現Ⅱ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

・設定時間内に、作文課題の指定字数を書けるようにする。
・公務員として、また、社会人としてモラルのある意見を述べることができるようにする。

【講義概要】

公務員採用試験、一次通過に大きなウエイトを占める論文を、求められるところに沿って書き、合格を目指す。

回	授業計画及び学習内容
1	昨年度評価とそれぞれの課題・対策
2	1. 本番に向けての見直し ①「自己」を語る
3	②自分の経験を活かすために
4	③最近心に残った出来事
5	④〇〇としてやってみたいこと
6	2.「あるべき公務員像」を語る ①公務員に必要なこと
7	②理想とする公務員像
8	③住民に期待される消防官/警察官/市職員
9	3. 設問応答型論文の対処法 ①過去問テーマから各自作文
10	②過去問テーマから各自作文
11	③過去問テーマから各自作文
12	④過去問テーマから各自作文
13	⑤過去問テーマから各自作文
14	本番に向けて これまでの復習・直前対策
15	4.「政策を提言する」 ①いきいきと暮らすために
16	①いきいきと暮らすために
17	前期定期試験 / 前期まとめと評価
18	5. さまざまな視点から意見文を書く ①新聞記事・評論より問題設定する
19	②新聞記事・評論より問題設定する
20	③新聞記事・評論より問題設定する
21	④新聞記事・評論より問題設定する
22	⑤新聞記事・評論より問題設定する
23	⑥新聞記事・評論より問題設定する
24	⑦新聞記事・評論より問題設定する
25	⑧新聞記事・評論より問題設定する
26	⑨新聞記事・評論より問題設定する
27	6. 意見発表 ①自分の思いを自分の言葉で発表する
28	②自分の思いを自分の言葉で発表する
29	③自分の思いを自分の言葉で発表する
30	④自分の思いを自分の言葉で発表する
31	⑤自分の思いを自分の言葉で発表する
32	7. 様々な文章、手紙の書き方(その1)
33	様々な文章、手紙の書き方(その2)
34	様々な文章、手紙の書き方(その3)
35	後期期末試験
36	卒業にあたって

【成績評価方法】

通常授業の作文内容、提出物、中間テストと期末テスト、出席率。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・演習を中心に、個別対応を多めに取って、弱点克服にあてる。
・担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をと

通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせる。また、当校では年次主教報告と
り指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
福祉・教育専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	文章理解Ⅱ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

文章理解Ⅰを履修してきた学生であるので、本年度の公務員採用試験を突破することを目標とし授業を展開する。

【講義概要】

前期は、公務員試験本試験にむけて過去問題を中心に力をつけていく。後期は、主に、社会に出たときに恥ずかしくないような国語力を高める授業展開をする。

回	
1	文章合致問題を解く（1）
2	文章合致問題を解く（2）
3	趣旨把握問題を解く（1）
4	趣旨把握問題を解く（2）
5	空欄補充問題を解く（1）
6	空欄補充問題を解く（2）
7	文章整序問題を解く（1）
8	文章整序問題を解く（2）
9	古文　合致問題・趣旨把握問題を解く（1）
10	古文　合致問題・趣旨把握問題を解く（2）
11	国語問題　四字熟語・故事成語・ことわざ問題を解く
12	国語問題　慣用句・同音異字語、漢字問題を解く
13	国語問題　敬語・文法問題を解く（1）
14	国語問題　敬語・文法問題を解く（2）
15	過去問題に挑戦　（1）
16	過去問題に挑戦　（2）
17	過去問題に挑戦　（3）
18	中間試験　振り返り
19	新聞記事から考える（1）
20	新聞記事から考える（2）
21	新聞記事から考える（3）
22	本の紹介と要約（1）
23	本の紹介と要約（2）
24	本の紹介と要約（3）
25	グループディスカッション（1）
26	グループディスカッション（2）
27	グループディスカッション（3）
28	グループワーク（1）
29	グループワーク（2）
30	グループワーク（3）
31	グループワーク（4）
32	いろいろな文章に触れる　業界紙・雑誌（1）
33	いろいろな文章に触れる　業界紙・雑誌（2）
34	いろいろな文章に触れる　業界紙・雑誌（3）
35	定期試験　ふりかえり
36	まとめ

【成績評価方法】

・前期試験（中間・期末テスト）、後期試験（中間・期末テスト）の平均得点から成績評価をする。グループワークなど授業への参加・意欲、提出物を加味する。なお、出席率が80%未満の場合は、成績評価の対象外とする。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

演習を中心に、個別対応を多めに取って、弱点克服にあてる。効果的な読解方法については、講義形式で、正答率を上げる取り組みも適宜行なう。担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの事方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学

看物ショーの表彰経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	教養Ⅱ	堀切昌美	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

年二回実施される【ビジネス能力試験（ジョブパス）】3級の合格を目指す。

【講義概要】

就職活動の準備として、社会人としてのマナーやモラルを身につけるための学習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	キャリアとは仕事へのアプローチ・身だしなみの基本
2	将来の自分。仕事への取り組み方
3	組織人としての重要な心構え・仕事の進め方
4	「お客様第一」主義・8つの意識
5	コミュニケーションとビジネスマナーの基本
6	指示の受け方と報告・連絡・相談
7	話し方と聞き方のポイント
8	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け
9	電話応対・来客応対と訪問の基本マナー
10	冠婚葬祭のマナー
11	仕事のマニュアル化
12	ビジネス文書の基本
13	統計データの作り方・読み方
14	情報収集とメディアの活用
15	会社数字の読み方
16	ネットワークと電子メールの活用
17	ビジネス用語
18	時事問題　その1
19	時事問題　その2
20	社会人としてのルールと企業倫理・コンプライアンスの重要性
21	情報収集のためのメモの取り方
22	ビジネス会話の特徴と目的
23	商談にあたっての心構え・基本行動
24	会議の基本的な流れ・議事録をまとめるポイント
25	人前で話す方法・話の構成
26	人前で話す実践編
27	プレゼンテーション（その1）
28	プレゼンテーション（その2）
29	プレゼンテーション（その3）
30	チームワークの意義と重要性
31	仕事に影響を及ぼす人間関係
32	問題発見と解決の方法
33	論理的思考法・分析の概念
34	報告書の書き方・企画書の書き方・社外文書
35	国際経済と日本経済
36	ビジネスの基本と法律

【成績評価方法】

・各課題の節目ごとにペーパーでの小テストを実施。また前期・後期それぞれの試験の平均点、及び授業内の平常点を加味する。
・検定試験合格を一つの基準とし、総合成績として評価する。
・評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・社会生活の基礎としての自覚を持たせ、ビジネス用語や時事問題、社会状況の把握をさせる。
・担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を

[illegible]
通じて担当教員が培ったビジネスマナーや社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	心理学	仲田まり子	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

心理学的知見と理論を理解することから、自分自身を含めた人間への理解を深める

【講義概要】

人間の心の仕組み・心の働きを心理学知見と理論を通して解き明かす

回	授業計画及び学習内容
1	心理学の歴史・心の研究法
2	社会心理学とは
3	傍観者実験 ①
4	傍観者実験 ②
5	社会的促進実験 ①
6	社会的促進実験 ②
7	ホーソン実験 ①
8	ホーソン実験 ②
9	印象形成実験
10	つり橋実験
11	同調実験 ①
12	同調実験 ②
13	フットインザドア実験
14	認知的不協和実験 ①
15	認知的不協和実験 ②
16	模擬刑務所実験
17	アイヒマン実験
18	認知心理学　視覚の不思議

【成績評価方法】

中間試験・期末試験・出席。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

社会心理学初期の実験を通して、人間の行動とその背後にある「心」の関係を理解する。担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
教育・福祉専門課程	公務員科 大学コース	2019年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ケーススタディ	瀬戸口　仁	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

公務員や社会人にふさわしい倫理・道徳観ならびに知識を身につける。

【講義概要】

行政や民間企業など実社会で働くためには、国民や利用者に奉仕する意識が欠かせないし、また様々の不祥事を絶対に起こさないという意識が必要である。そこで、この授業では、行政に関連するさまざまの問題や課題を確認したうえで、関連する法規や制度に依拠しつつ、それらの問題にどう対応すべきかを考えていく。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	公務員の不祥事対策　セクシャルハラスメント
3	公務員の不祥事対策　パワーハラスメント
4	どうすれば高齢者に社会保障制度を知ってもらえるか
5	男女共同参画社会をめざして
6	大規模水害対策
7	子どもの貧困対策
8	児童虐待対策
9	個人情報保護法を踏まえてどのように業務に取り組むか
10	特定秘密保護法を踏まえてどのように業務に取り組むか
11	マイナンバー制度について考える
12	前期中間試験
13	規制緩和の意義と問題点
14	憲法改正と国民投票法
15	討論の仕方（その１）
16	討論の仕方（その２）
17	前期期末試験
18	まとめ
19	後期ガイダンス
20	公務員の仕事の特徴　避難勧告を例に
21	公務員の仕事の特徴　海上保安庁を例に
22	公務員の仕事の特徴　警察を例に
23	公務員の仕事の特徴　租税や生活保護を例に
24	公務員の仕事の特徴　し尿処理を例に
25	公務員の仕事の特徴　ごみ処理を例に
26	性的犯罪に関する治安対策について
27	薬物規制について
28	タトゥーの是非
29	障害者の社会参加をめぐる話題
30	現代家族の形態
31	リスク社会をどう生きるか
32	表現の自由をめぐる問題（その１）
33	表現の自由をめぐる問題（その２）
34	混迷する世界情勢をどう生きるか
35	後期期末試験
36	まとめ

【成績評価方法】

試験、小テスト、授業態度、出席率によって総合的に評価する。
評価基準は100点～90点がS、89点～80点がA、79点～70点がB、69点～60点がC、59点以下は不合格とする。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

・毎週、前週に話題となった時事問題を取り上げ、解説。各自の意見、感想を原稿用紙に書かせ、発表させる。なお、授業実施時点の社会情勢の変化に応じて、授業内容を適宜変更する。
・担当教員は、サンケイスポーツ新聞社で記者として11年間プロ野球を担当。メジャーリーグを始めとする4大プロスポーツ、オリンピック、ワールドカップ等を取材。のち、産経新聞で記者として1年間政治等を取材。そのほか、東北福祉大学等で講師を担当。全国で公演活動を展開。